

さて、これから2ヶ月ほどの間授業を担当させていただきます。また、一緒に勉強ができてうれしいです。ところで、先日の朝の集会で先生は「まったく新しい考え方で授業をする」と言ったよね。そのことについてはじめに少し話しておきたいと思います。

君達が、これから先、生きていく上で最も大切な力は何だと思う？いろいろなことがあるとは思いますが、先生が考える大切な力というのは、「仲間の力をうまく借りる力」だと思う。人間一人の力にはどうしても限界がある。得意なことはそれぞれ違うから。例えば、新しいゲームを買った。クリアする方法が分からない。そんな時どうする？自力でクリアする事によほどのこだわりを持っている人でない限りは、誰か詳しい友だちに聞くんじゃないの？それは、先生たちでも同じ事で、例えばパソコンの操作がよく分からない時は、自分より詳しいと思う人に聞くもね。そうやって、うまく人の力を借りることで、自分に足りない部分を補うことで生活を豊かにしていくことができると思うんだ。

ところで、話を少し変えるけど、学習する上で一番効率のよいというか力がつく人数というのは先生一人に対して生徒何人だと思う？一番いいのは、生徒一人に先生が一人ずつついて、分からないところを丁寧に丁寧に教えてもらうというのが一番効率がよく力がつくよね。ところが、学校ではそれはできないよね。それに、先生一人に生徒一人で起こりうる最も不幸なことがある。それは先生と合わない時だよね。1対1で勉強しても、例えば、質問するたびに「何でそんなことがわからんの？」と聞き返されたりしたらやる気なくなるよね。仮に一生懸命教えてくれたとしても、その教え方では全然分からない場合も不幸だよね。そうすると、色々な教科ごとに自分にあった教え方をしてくれる先生が一人ずつ必要だということだよ。そんなのありえないよね。教室にはたくさん人間がいるからね。30人の生徒に30人の先生なんて無理だよ。でもね、30人以上の人間がいるのならそれをうまく生かせばいいんじゃないかなと考えたの。

そこで、これからやる神崎先生の授業は、こういった問題を一挙に解決して誰もが、わかりやすく楽しい授業になることを目指した授業です。その為には、このクラスの仲間同士での教え合いをしながら学習を進めていってもらいます。考えてみてよ。このクラスには30人以上の自分とは違う能力を持った仲間が存在しています。その仲間同士で教え合いをすれば、かなりの確率で自分にあった教え方をしてくれる仲間が見つかるはず。そういった仲間の力をうまく借りることで、楽しくわかりやすい授業をつくることはできるはず。そして、自分が将来生きていく上で最も大切な力である人の力をうまく借りる力を身につけることもできるはず。

これから先の授業、先生は、何をやるかの指示は出すけれど、どうやるかは教えません。もちろん、必要な道具の準備はしますが。授業における課題については、全て君達の力で解決して下さい。先生に質問しても、先生はあっさりと「何で先生に聞くの。」としか答えません。30人以上の力を合わせれば、教科書に書いてある程度の内容であれば、自分たちの力で理解することぐらいは十分に可能です。とりあえずは実験器具の問題もあるので班の仲間を中心にたくさん相談して学習を進めて下さい。もちろん他の班の仲間との交流も先生は邪魔しません。それとは逆に一人で学習したいという人の存在も認めます。ただし、1時間の授業が終わった時、誰に聞いても学習した内容について「～の事が分かった。」と的確に答えられるようにして下さい。一人でもそれができない場合は、君達の学習はうまくいっていないということです。さあ、これからの2ヶ月が楽しみです。君達がこの学習の仕方になれてきたら新たに大きな課題・目標を与えます。それを楽しみにしてて下さい。